

～with コロナ時代に 神戸で支援の輪を広げる～
with コロナ KOBE 応援プラットフォーム
「子どもの応援」が実現しました

「with コロナ KOBE 応援プラットフォーム」事業では、新型コロナウイルスの影響を受けて困っている方々に向けて、みなさまからの「応援したいこと」を募集しています。

このたび、(一財)日本善意財団からの定期的な寄付により「子どもの応援」事例が新たにできました。本事業では引き続き「応援したいこと」を募集しています。[\(神戸応援プラットフォームで検索\)](#)

1. 事業の概要

困っている神戸市民に対する“応援したい”という気持ちを「応援したいこと」として募集しています。応援者は「子どもの応援」「高齢者の応援」「地域の応援」など12のカテゴリーから選択して応募を行います。その後、「応援したいこと」を実現するためのチームづくり（協力者探し）を行い、具体的な支援の取り組み（プロジェクト）につなげていきます。

2. 今回実現した応援内容

(一財)日本善意財団より「子どもの応援」とりわけ「子どもの貧困問題に対する支援」をしたいとご応募いただきました。そこで、「認定NPO法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」が運営する「女性やシングルマザーと子どもたちの居場所 WACCA（わっか）」が実施する「フードパントリー活動」とマッチングすることにより、定期的な寄付支援を実施いただけることとなりました。



«フードパントリー事業（食品支援拠点）によるひとり親家庭の支援»



(会議風景)

(フードパントリー事業)

(拠点の一部)

3. 支援の概要

新長田に拠点を置き、シングルマザーとその子どもたちへ多様な活動で、切れ目のない支援を行う拠点 WACCA（わっか）。お母さんと子どもたちの居場所づくりや学習支援、専門相談など幅広くひとり親家庭をサポートしています。今回はフードパントリー（食品支援拠点）としての活動の拡大や充実に向けて(一財)日本善意財団より月額3万円の継続した支援が決定しました。

4. 問い合わせ先

with コロナ KOBE 応援プラットフォーム運営事務局（株式会社プロアクティブ内）
TEL：078-945-8800 FAX：078-332-2506 E-mail：kobewith20@pac.ne.jp

■ (一財)日本善意財団が応募に至った経緯

令和元年6月12日に設立された一般財団法人日本善意財団。日本の将来を担う子どもたちに、特に経済的・社会的・家庭的に恵まれない子どもたちが、挫折したり道を誤ることなく、真っすぐに育っていくように、物心両面から支援して行こうとの思いで発足しました。

コロナ禍において、東京都葛飾区のNPO法人と連携し、子どもへの食事支援活動としてお弁当配布プロジェクトなどをサポートしています。今回 with コロナ KOBE 応援プラットフォームにご応募頂いた、財団事務局谷口さんは神戸出身。地元神戸でもコロナ禍で、より困難な状況にある子どもを持つ世帯を支援したい、とりわけ子どもたちの生活に直結する「食の支援」に地域に根ざして取り組む方々をサポートしたいと、ご応募いただきました。

■ 応援者「(一財)日本善意財団」谷口 賀彦さんからのコメント

コロナ禍で経済的にもより困難な状況に陥り、助けを必要とする方々が増えている中、直接会い、集うことがむずかしくなり、NPOや地域の団体の方も支援の方法に苦勞されていることと思います。私ども財団は活動歴も浅くまだまだ微力ではありますが、ひとりでもふたりでも助かる子どもたちが増えるよう、支援を継続していきたいと思えます。

また今回は、私が生まれ育った神戸市長田区で、地域に密着して活動されている「WACCA」様とご縁をつないでいただきました、「with コロナ KOBE 応援プラットフォーム」の皆様にも心より感謝いたします。

■ 協力者「女性やシングルマザーと子どもたちの居場所 WACCA」茂木 美知子さん・園田 恵美さんからのコメント

感染拡大の影響で、約10世帯に月2回定期的に手渡ししているフードパントリー活動とは別に、通常時より多い件数をエール便として夏休みや年末に配送したりと、支援を必要とする方が確実に増えてきている実感があります。

お米やお菓子の提供に偏りがちですが、今回の支援を活用させていただき、季節感のある食品や栄養価の高い食品などもお届けできればと思います。



左：日本善意財団 谷口さん 右：WACCA 園田さん